大阪府感染症発生動向調査週報 （速報）
2021年 第46週（11月15日～11月21日）

今週のコメント

～感染性胃腸炎～ 手洗いの励行、排泄物の適切な処理が重要

定点把握感染症

「感染性胃腸炎 増加続く」

第46週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は2,116例であり、前週比10.8%増であった。定点あたり報告数の第１位は感染性胃腸炎で以下、手足口病、ヘルパンギーナ、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、突発性発しんの順で、定点あたり報告数はそれぞれ4.67、4.07、0.85、0.34、0.28である。

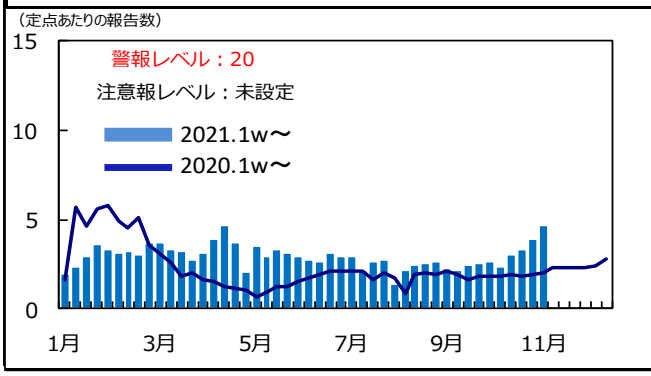
感染性胃腸炎は前週比20%増の920例で、南河内6.13、大阪市西部6.10、大阪市北部6.07、大阪市南部5.78、三島5.38であった。

手足口病は13%増の802例で、南河内6.88、大阪市南部5.39、泉州5.20、中河内5.05の4ブロックで警報レベル基準値5を超えている。

ヘルパンギーナは15%減の167例で、泉州2.20、中河内1.30、南河内1.25であった。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は20%減の66例で、中河内0.90、南河内0.56、泉州0.40である。

感染性胃腸炎



手足口病

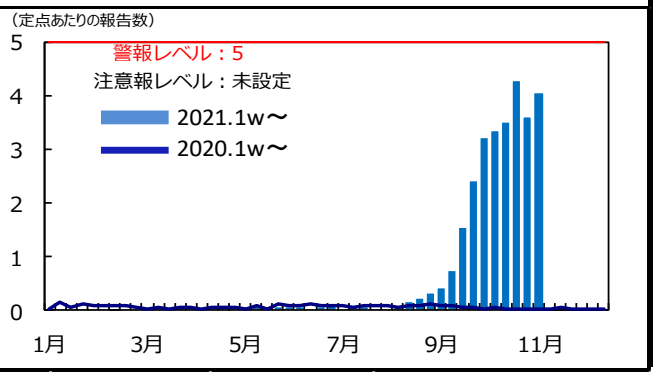


表１．大阪府小児科･眼科定点把握感染症の動向（2021年 第46週11月15日～11月21日）

第46週の順位	第45週の順位	感染症	2021年第46週の定点あたり報告数	前週比増減	2020年第46週の定点あたり報告数	2021年第46週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	4.67	20%増	1.98	１歳_20%
2	2	手足口病	4.07	13%増	0.02	１歳_42%
3	3	ヘルパンギーナ	0.85	15%減	0.30	２歳_37%
4	4	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.34	20%減	0.54	10-14歳_17%
5	5	突発性発しん	0.28	14%減	0.39	１歳_49%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	0.00	100%減	0.01	

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。第36週からインフルエンザの新シーズンの集計が始まりました。

第46週のコメント

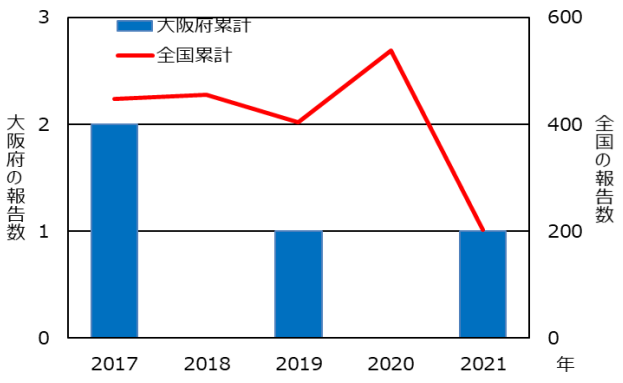
～つつが虫病～　国内では、年間400～500例の感染報告がある。

全数把握感染症

つつが虫病

つつが虫病は、つつが虫病リケッチア(*Orientia tsutsugamushi*)を起因病原体とし、野山でダニの一種であるツツガムシの幼虫に吸着されることにより感染する。ツツガムシの活動が活発化する5-6月と11-12月に発生が多い。 潜伏期は5～14日であり、発熱、発しん、刺し口が主要三徴候である。高熱を伴って発症し、皮膚には特徴的な刺し口（黒色痂疲）がみられ、その後体幹部を中心に発しんがみられる。検査所見では肝逸脱酵素の上昇、血小板の減少が認められる。治療には、抗菌薬投与が効果的であり、第一選択薬はテトラサイクリン系の抗菌薬である。β-ラクタム系の抗菌薬は全く無効である。

感染症疫学センターはこちらへ(外部リンク)
つつが虫病



2021年11月23日　集計分

表２．大阪府全数報告数（ 2021年 第46週11月15日～11月21日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名 （ ）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
４類感染症	**つつが虫病**	**1**							1		1
	レジオネラ症（肺炎型）	**3**					1	1	1		122
５類感染症	**カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症**	**1**			1						161
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	**2**		1				1			32
	後天性免疫不全症候群	**2**			2						89
	侵襲性肺炎球菌感染症	**1**		1							82
	梅毒	**6**		3	2		1				709
新型インフルエンザ等感染症	**新型コロナウイルス感染症**	**128**	2020年1月以降累計　203,027								
結核 （2021年9月分）	**結核　新登録患者数：73名** （府内累積報告数　832名、内　肺・喀痰塗抹陽性　323名）		（内　肺・喀痰塗抹陽性　35名）								

（2021年11月23日　集計分）

新型コロナウイルス感染症の報告数は、大阪府の報道発表の報告数を示しています。
詳細はリンク先の『11月1日まで』と『11月2日以降』をご覧ください。